

大会の目的 国内最大級の「文化の祭典」である国民文化祭を開催し、本県における文化芸術のさらなる振興と中山間地域等に伝わる伝統芸能の再興、継承につなげる。併せて、全国障害者・芸術文化祭を一体的に開催し、障害のある人の生きがいや生活の質の向上につなげるとともに、地域の人々との相互理解がより一層深まる契機とする。

1. 開・閉会式

- 本県独自の文化と多様な魅力を盛り込んだ演出により、大会の開幕及び閉幕を盛り上げる式典を実施
- ◆開会式 令和8年10月25日(日) 春野総合運動公園体育館 ※慣例では天皇皇后両陛下ご臨席
 - ◆閉会式 令和8年12月6日(日) 新来島高知重工ホール(オレンジホール)

2. 主な県実行委員会主催事業及び取組

※主催事業は14事業

(1) 国民文化祭事業

総合プログラム～高知が誇る文化の祭典～

様々な文化芸術が一堂に会し、ステージでの実演やブースでの紹介・体験を行う等、文化の総合イベントを開催(※県内3カ所)

- よさこい ○伝統芸能 ○伝統工芸
- 郷土料理含む食文化 ○農林水産業紹介 他

植松伸夫と音の冒険(仮称)

ゲーム音楽のベートベンと称される高知市出身の植松伸夫氏によるシンポジウムを開催するとともに、県内で活躍している交響楽団による、ゲーム音楽の生演奏を披露



(2) 全国障害者芸術・文化祭事業及び取組

どんどこ! 巨大紙相撲～よさこい高知文化祭場所～

- ・等身大(高さ約180cm)の段ボールで制作した力士で競い合う紙相撲大会。障害の有無や年齢、性別、国籍等に関係なく、誰もが参加できるアートプログラム
- ・各ブロック予選を勝ち抜いた力士が高知場所初代横綱を目指す



ソーシャルストーリー・ブックの横展開

障害のある方や子ども、外国人などの利便性の向上を図るため、県立文化施設において制作した「ソーシャルストーリー・ブック(※)」を、市町村立を含む県内の文化施設等にも紹介し、横展開

※障害のある方に限らず、文化施設に行ったことがない方や行くことに不安を感じる方など、誰でも活用できるよう、やさしい文章や絵、写真を活用して「見通し」を立てるアクセシビリティツール

3. 広報活動

県内外における気運醸成を図るため、官民一体となって広報活動に取り組む

- 広報大使、マスメディア、公共交通を活用したPR
- SNSでの情報発信 ○100日前イベントの実施
- 広報ボランティア、広報サポーターの募集 ○ガイドブックの制作、配付
- 市町村を含む県内外でのイベント出展によるPR 等



4. 市町村等への支援

- ◆市町村等が実施する文化芸術や民俗芸能等の事業に対して支援することにより、地域の活性化や県内外からの誘客による交流人口の拡大を促進

地域文化発信事業

市町村等が実施する文化芸術活動や地域に受け継がれてきた民俗芸能等の文化資源を活用する事業の開催経費に対して支援

【補助率】2/3以内 【補助限度額】1,000千円 or 1,200千円

【補助限度額】

市町村等が実施する地域文化発信事業(新規事業又は新規性要素のある既存事業に限る)において、障害のある方の参加を促進するための環境の整備や合理的配慮の提供を行う場合は、補助限度額を200千円加算

※県内全34市町村において開催予定

※**伝統芸能等を披露予定の市町村数：16市町村(27事業)**

文化交流事業

市町村が文化団体と連携して実施する全国的な広がりをもつ事業の開催経費に対して支援

【補助率】2/3以内 【補助限度額】上限なし

※県内7市において、27事業(30団体)を開催予定



5. 受入体制

大会目標 総参加者数100万人

(1) トラベルセンターの設置

- ・来県者の交通手段や宿泊施設等の手配を支援するため、トラベルセンターを開設
- ・大会情報と併せて、どつぶり高知旅キャンペーンに関する情報を提供

(2) 高知観光情報発信館「とさてらす」及び高知県バリアフリー観光相談窓口による観光案内